



朽木の外出支援を考える会のちらし (提供：朽木住民福祉協議会)

朽木の外出支援を考える会のちらし (提供：朽木住民福祉協議会)

『地域の現状』
現在、市内には約2000の自治会(区・町内会など)があります。自治会の規模はさまざまです。自治会の規模はさまざまです。500世帯を超える地区もあれば、20世帯に満たない地区もあります。また、明治以前から続く集落もあれば昭和後期に開発された住宅地もあり、当然課題も活動も違ってきます。

『地域の現状』
買物や通院手段の確保、高齢ドライバーの交通事故増加など、移動に関する困りごとがあとちこちで聞かれるようになりまし。市内でも特に高齢化が進展している朽木地域では、朽木住民福祉協議会や生活支援ボランティアの方が中心になって「朽木診療所への通院手段に困っている人を支援できる仕組みを考

地域で支え合い 住みよいまちへ

特集2



「向い三軒両隣」という言葉をご存知ですか。自分の家から道を挟んだ向こう側の3軒と両隣の2軒とは親しく近所づきあいをし「お互いを思いやる関係」で地域をまとめてきたつながりを表すものであり、「い」から自治会は始まったと言われています。今回、いま地域で起っていることや、これからの事についてお知らせします。

『地域の現状』

れているのが

- 「見守りが必要な世帯が増えてる」
- 「役員のなり手が無い」
- 「活動等への参加者が少ない。固定化している」
- 「役員の負担が大きい」

では、これらの課題を解決するためには、どうすればよいのでしょうか。

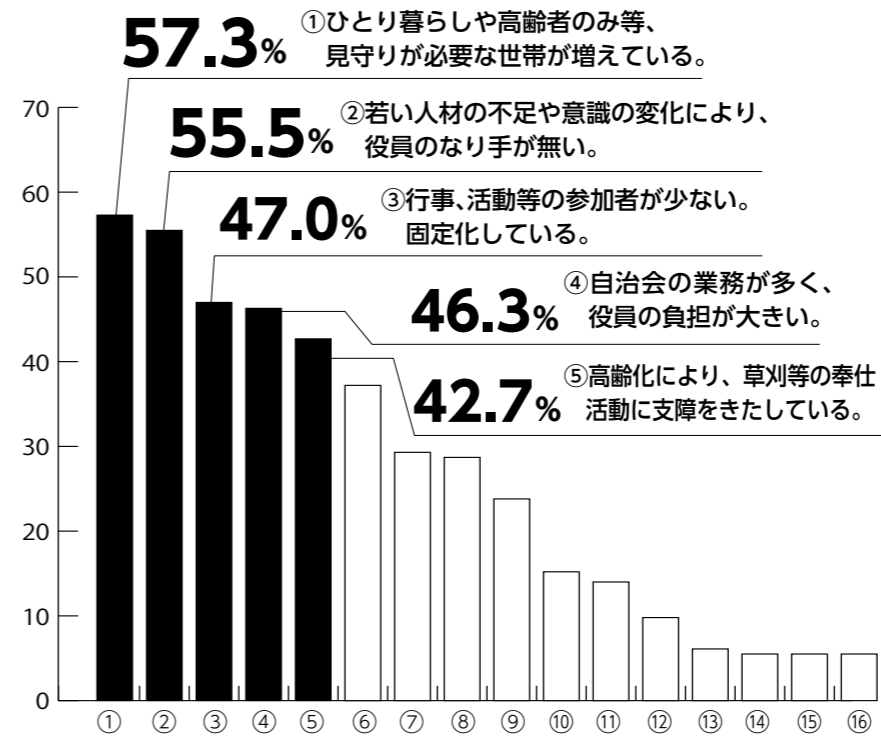
『地域の気づき』

買物や通院手段の確保、高齢ドライバーの交通事故増加など、移動に関する困りごとがあとちこちで聞かれるようになりまし。市内でも特に高齢化が進展している朽木地域では、朽木住民福祉協議会や生活支援ボランティアの方が中心になって「朽木診療所への通院手段に困っている人を支援できる仕組みを考

区長・自治会長さんにお聞きしました。

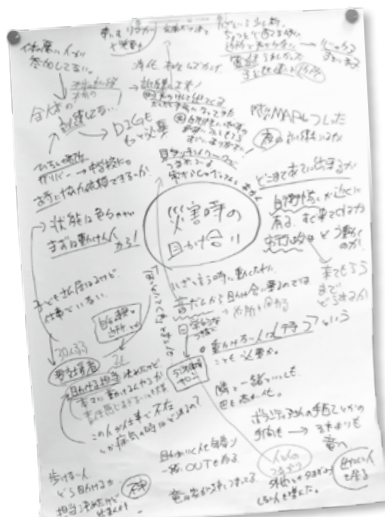
自治会活動の中で、どのようなことにお困りですか？ (複数回答可)

(※1「平成28年度 区長・自治会長アンケート」より一部抜粋)



- ⑥行政からの依頼事項が多く、負担が大きい。…37.2%
- ⑦山や農地の管理者が減り、荒廃していく。…29.3%
- ⑧空き家や空き地が増加して、荒廃していく。…28.7%
- ⑨お祭りや伝統行事ができなくなりつつある。(できない)…23.8%
- ⑩買い物や通院等、外出支援が必要な人が増えている。…15.2%
- ⑪その他…14.0%
- ⑫ごみ屋敷や不法投棄されている土地がある。…9.8%
- ⑬住民間のトラブルがあり、意見の調整が難しい。…6.1%
- ⑭昔からの住民と新しくこられた住民の関係がうまくいかない。…5.5%
- ⑮貧困やひきこもり等、社会的な孤立が気になる人が増えている。…5.5%
- ⑯特に困っていることはない。…5.5%

※1「区長・自治会長アンケート」結果の詳細は市ホームページで公開しています。



座談会での意見をまとめた模造紙



集落座談会の様子(平成28年8月 電自治会)

自治会活動、応援します /

市では、自治会活動を応援する制度をご用意しています。住民間の交流や防犯灯・ゴミかごの修繕をはじめ多様なまちづくり活動を応援するための「みんなで創るまちづくり交付金」をはじめ、集会所の新築や修繕、防災設備の購入や地域で除雪作業を行う費用に対する補助金、自治会対象の貸付制度などを設けています。

また、地域の問題解決のための話し合いにご利用いただける集落座談会や各種の出前講座といった職員の派遣制度、個別に見守りや支援が必要な家庭の相談については、保健師など専門職員による個別訪問も行います。

また、自治会活動と市民団体による活動の連携や、地域への応援団がないか等といった相談については、たかしま市民協働交流センター（事務局は今津東コミュニティセンター内 ☎（20）5758）でお受けしています。

詳しくは、市民協働課または各支所のまちづくり担当職員にご相談ください。

☎市民協働課 ☎（25）8526



「まちづくり交付金の実績写真（花いっぱい運動、ごみ集積所）」

次号から、「がんばる自治会（仮称）」の連載を始めます。きらりと光る活動をされている自治会、地域、集落がありましたら取材に参りますので、ぜひご連絡ください。

もに、地域と地域を連携する」と定めています。今後は、人口減少により集落機能の維持が困難と予測される中、生活圏の中で地域活動や生活サービスを支える地域運営の仕組みづくりに向け、集落が担っている機能や役割を整理し、周辺集落と連携して次世代の担い手を育成し、機能維持を目指す活動を推進していく予定です。



地域の見守り活動

（出典）高島市社会福祉協議会作成「見守りネットワークのマトメ」

また、市では一昨年に策定した「高島市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標の一つに「時代に合った地域づくり、安心な暮らしを守ると」と



子ども会や祭



大雪時の助け合い

『地方創生』 …行政の動き

国では、地域の課題解決を目指す取り組みについて「まち・ひと・しごと創生総合戦略改訂版2015」の中で、将来的な集落の維持が危ぶまれる地域等における「小さな拠点」の形成を推進しています。これは、集落を基礎とする日常生活圏における生活や仕事を支えるための住民主体の取組体制づくりや利便性の高い地域づくりを目指す施策であり、そのために地域住民自身が「自分たちでできる」とは行政ではなく自分たちでやる」という当事者意識を持って地域運営組織をつくり活動することが必要であり、行政はその組織づくりを支援するとしています。

『地域のつながり』 を大切にする どうしよう？

自治会は、地域に住む人々がともに支えあいながら、安心して安全に暮らせる地域づくりを行うために自主的に組織されている団体です。しかし、自治会を取り巻く環境は年々変化し、災害時の初動対応や高齢者の見守りなど、個人の活動や行政だけでは限界がある分野において、その意義や期待される役割はますます大きくなっていきます。

いま、必要な活動をみんなで共有し、それぞれが「やれること」を分担するなど、自治会の在り方にも変化が求められています。

しかし、難しく考えすぎずに、まずは自分のできることや得意な分野で参加してみてください。きっと、達成感ややりがい、お互い様の暮らしを実感されるはずです。自治会活動に参加して、あなたの力を住みよい地域づくりに生かしてみませんか。

☎市民協働課
☎（25）8526

高島市公式

フェイスブックとInstagramをはじめました

高島市の公式 Facebook ページと Instagram をはじめました。

○ Facebook 「あっと高島【高島市役所】」

市の魅力や市のお知らせ情報を配信します。

○ Instagram 「takashima_city【#たかP写真館】」

市の魅力を写真で紹介します。

それぞれ、**高島市** で検索して登録をお願いします。



たかP

☎秘書広報課 ☎（25）8000